

令和4年度 三井楽小学校 学力向上プラン

【目標】「三小学習スタイル」を全校で実践し、共に考えを深め合いながら学力を身に付ける児童の育成を図る。

<指標>令和5年度のC R T 学力検査における正答率を、国語、算数ともに全国比95%以上にする。

1人1正答数アップ

【授業づくり（授業改善）】

- 主体的に学び合い、学習内容を確実に理解できるようにするために、話し合いを中心とした授業改善を図る。
 - ・低中高別に話型をつくり、活用して話し合いを充実させる。（考えながら聞く、分かりやすく伝える）
 - ・話し合った後、分かったことや要点を整理し、「まとめ」へとつなげる。
 - ・「三小学習スタイル」を全校で統一して指導することにより、学びに向かう姿勢を育てる。

〔重点取組〕

主体的な話し合いによって共に考えを深め合い、分かったことや気づきを、児童が進んで自分の言葉で整理し、まとめようとする。

<取組指標>主体的に学習に取り組む態度に関する集計結果の全国指数アップ

- ・「学習を粘り強く進める態度」88.0を95.0に引き上げる。
- ・「学習を自己調整しようとする態度」81.9を90.0に引き上げる

《児童生徒の学力の課題及び要因の考察》

<学力の課題>CRT学力検査の結果がどの領域も全国比を下回り、学力の底上げが課題である。学びに向かう姿勢にも課題がある。

- ・国語科「話すこと・聞くこと」92.8 「書くこと」84.8 「読むこと」85.0 （全学年の全国比の平均）
- ・算数科「数と計算」90.6 「図形」94.4 「測定、変化と関係」88.0 「データの活用」80.0
- ・主体的に学習に取り組む態度に関する質問 「学習を粘り強く進める態度」88.4 「学習を自己調整しようとする態度」81.9

- < 要 因 >
- ・見直しややり直しが徹底せず、基礎基本の定着が十分にできていない。
 - ・自分の考えを話したり書いたりすることに抵抗がある児童が多い。
 - ・落ち着いてじっくり根気よく学習に取り組む姿勢が育っていない。